

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	地盤震動小委員会	主 査 名：高井伸雄 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：菊地 優)
設 置 期 間	2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	震源特性及び地殻から表層地盤までの伝播媒質の震動特性に関して、観測記録、数値実験に基づく評価及び関連する研究成果の収集・整理を行う。 初年度：地盤震動シンポジウム・地域交流会を企画・実施し、上記研究目的に関する研究成果の収集・整理を傘下の WG と共同し行う。 2 年度：上記に関する研究情報の収集と地盤震動シンポジウムの開催。 3 年度：前年度と同様、地盤震動シンポジウム等で情報発信を実施。 4 年度：前年度の活動に加え、次期出版物に関しての、議論を開始。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：高井伸雄(北海道大学) 幹事：佐藤浩章(電力中央研究所)，高橋広人(名城大学)，引田智樹(鹿島建設) 委員：浅野公之(京都大学)，上林宏敏(京都大学)，大野 晋(東北大学)， 大堀道広(滋賀県立大学)，川辺秀憲(大阪大学)，神野達夫(九州大学)， 境 有紀(京都大学)，地元孝輔(香川大学)，松島信一(京都大学)， 三浦弘之(広島大学)，吉田邦一(福井大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	地震動減衰評価 WG：地盤での地震動の減衰を適切に評価することで、高精度な強震動予測に寄与するため、これまでの評価事例を収集・整理する。 地盤構造モデリング手法評価 WG：地盤の速度構造のモデル化に必要な地盤探査手法について、実際の探査情報や現実的な 3 次元地盤構造モデルを対象とした数値実験に基づいて、そのパフォーマンスを確認及び整理する。	
2023 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s4/

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 2023 年 4 月『地盤震動研究とその応用』刊行
講習会	1. 講習会「地盤震動研究とその応用」 参加者数 159 名 (現地参加者 37 名、オンライン参加者 122 名)
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第 51 回地盤震動シンポジウム「関東平野の地震動特性はどこまで明らかになったか? - 関東地震から 100 年 -」『同名資料』 参加者数 171 名 (現地参加者 76 名、オンライン参加者 95 名)
大会研究集会	1. PD：過去の地震からの学び(研究)を活かすために - 観測や被害原因の分析と設計への展開 参加者数 389 名 『構造部門(振動)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 前年度までの成果としての出版物が 4 月に出版され、講習会も盛況であった。 第 51 回地盤震動シンポジウムにおいては、関東地震から 100 年経た地盤震動研究分野の情報の収集を行い発信した。 2. 2019 年を最後に開催が中断されていた、大会時の地域交流会を再開した。
委員会活動の問題点・課題	1. WG を含めた委員の世代交代 2. 女性委員の増員